



ロータリーは機会の扉を開く

# 帯広西ロータリークラブ

## 第2327回例会

# 会報

### 2020.11.5



■RI第2500地区テーマ■

ランクアップしましょう

■クラブ・テーマ■

化学反応を起こす出会いの機会を作ろう

#### ビジター紹介

帯広北RC	松岡 真勝	幹事
	石井 宏治	出席委員長
	高田 義久	会員
	黒田 勇一	会員
	荒木 樹	会員
	曾我 浩昌	会員

#### 森 房明 副会長



圏における地方風習だったそうですが、段々と全国に広まったそうです。旧暦の11月は収穫を終えてその実りを神に感謝する月で、その月の満月の日である15日に、氏神への収穫の感謝を兼ねて子供の成長を感謝し、加護を祈るようになったそうです。7+5+3=15で15日となり11月15日となったと言う説もあります。北海道や寒冷地では11月15日前後の時期は寒くなっていることから、1か月早めて10月15日に行う場合が多いです。人生の節目を迎えますクラブの皆様にはなかなか記念写真を写す事も無いと思いますので、これを機にご家族・ご夫婦・お1人様でも結構ですので当店をご利用頂ければと思います。それでは乾杯をしたいと思います。ご唱和ください。乾杯

#### 11月誕生祝

林 文昭	会員	1947.11.22
茨木 雅敏	会員	1951.11.25
若林 剛	会員	1956.11.19
太田 豊	会員	1961.11.22
辻田 茂生	会員	1962.11.10
菊池 俊博	会員	1973.11.10

#### 上垣 香世子 親睦活動委員



#### 11月結婚祝

渡部 省一	会員	1972.11.25
深澤 知博	会員	1983.11.3
石原 英樹	会員	1984.11.3
松田 貴史	会員	1994.11.22

#### 会長報告

#### 佐々木 和彦 会長

みなさんは付度という言葉を知っていますか。権威や力のある相手へおべっかを使ったり、ひいきしたりとネガティブなイメージを持つ方がほとんどだと思います。それは2017年に起きた森友学園問題において、この付度という言葉が使用され、その年の流行語大賞になったことがきっかけになっていると思います。学園の理事長籠池泰典さんが国会の証人喚問で、どうしてこうなったかと聞かれ、「安部昭恵さんとは親しくしていましたが、お願いはしていない。たぶん役人が付度したのでしょう」と付度の間違った使い方でお答えしたのが始まりだと思います。付度とは、「相手の求めているニーズは何か?」という人の意図や感情をきちんと察したり、予測したりする事を意味します。そのため、自分の意見はお互いにズバズバ言い合う欧米とは異なり、相手の心中を



#### 乾杯

#### 郷 誠一 会員

11月生まれの方、また結婚記念日の皆様本当におめでとうございます。何を話せばと考えたのですが、七五三の話をしたと思います。私は写真屋ですので10・11月は七五三撮影の繁忙期です。七五三が11月に行われるようになったのは、天和元年11月15日に第5代将軍である徳川綱吉の長男の健康を祈って始まったとされる説が有力とされています。元々は関東



会長 佐々木和彦 副会長 森 房明 会場監督理事 菊池 俊博 発行：広報委員会  
幹事 小野 辰夫 副会長 太田 豊 プログラム委員理事 熊切 宏樹 委員長 松原 宏樹 (副)郷 誠一



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

察したり、思いやったりする文化の根強い、日本ならではの言葉なのです。付度とよく似た意味で斟酌という言葉があります。人の気持ちを押し量るだけの付度に対し、斟酌は相手の心情を汲み取るだけでなく、それを踏まえた上で言動を控えたり、遠慮したり、実際に行動にまで移すという意味があります。ですから籠池さんは付度では無く斟酌を使うべきだったと思います。私たち西クラブは創立以来会員同士、とても仲が良いクラブです。さらにお互いに、本来の意味の付度をしあう、ステキなクラブとして50周年を迎えたいと思います。7月に入会した藤村和成会員が、仕事の都合で退会しました。

## 会務報告

小野 辰夫 幹事

①帯広南RC、11月9日（月）の例会は、休会と致します。

帯広南RC、11月23日（月）の例会は、祝日のため休会と致します。

②帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 11月26日（木）午後6時30分  
場所 北海道ホテル

③帯広北RC、移動例会開催のご案内

日時 11月27日（金）午後0時30分  
場所 ふじもり食堂

④帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日時 11月30日（月）午後6時30分  
場所 北海道ホテル

⑤帯広西RC、年次総会開催のご案内

日時 12月 3日（木）午後0時30分  
場所 北海道ホテル



## 委員会報告

藤本 剛 ロータリー財団副委員長

ポールハリスフェロー表彰

5回 横山 明美 会員

2回 上垣香世子 会員

北川 勝啓 会員

1回 松見 喜明 会員

松田 貴史 会員

工藤 正宏 会員

松原 宏樹 会員

平田 宗利 会員



## ニコニコ献金

宮前 友江 親睦活動委員

小野 辰夫 幹事

本日帯広北RCより6名の方にメイ  
キャップ頂きました。



本田美喜男 委員長

本日ロータリー財団の担当例会です。財団の事業について分かりやすく説明致します。ご理解を頂きご寄付、ご協力をお願い致します。

藤本 剛 副委員長

初めての担当卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。

高田 晃一 会員

鈴木会員、先日の卓話お疲れさまでした。

辻田 茂生 会員

10月19日で創業15年となりました。今後とも宜しくお願い致します。

郷 誠一 会員

初めて乾杯します。よろしくお願いします。

宮前 友江 会員

ニコニコ発表させていただきます。

ニコニコ 献金	11月5日	19,000円
	累計	337,000円 (11月5日現在)



## 「会員卓話」

藤本 剛 会員



国際ロータリー第2500地区のロータリー財団について1.概要と歴史2.寄付の種類と現状3.活動資金について4.地区補助金について5.まとめ、とご説明させていただきたいと思います。ロータリー財団は非営利団体で、ロータリアンを始めより良い世界を築こうというビジョンを共有する支援者の自発的な寄付のみによって支えられております。国際ロータリーの目的を推進するための単独の信託機関として全資産を維持、投資、管理、運営しております。使命はロータリアンが人々の健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにする。国際ロータリーの使命としては、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務及び地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進するということです。国際ロータリーとロータリー財団は独立した法人ですが、理念上も実際上も一つのロータリーとして機能しております。会員は会費を通じて国際ロータリーを支援し寄付を通じてロータリー財団を支援しております。ロータリー財団は皆さまからの寄付を世界各地での奉仕活動に役立てております。教育の支援、持続可能な成果を生み出すプロジェクトにより世界の地域社会を少しずつ変えていくことができます。理念としましてはロータリアンが所有する財団、世界の最も切実なニーズに応える、世界における活動範囲は国連を超える、政府などの支援が行き届かないところで活躍をする、ことをモットーにしております。歴史ですが、1917年に国際ロータリーの会長でありますアーチクランフが「基金を作り世界的規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で何か良いことをしよう」とアトランタ国際大会で提案したことが始まりです。1928年にミネアポリス国際大会でロータリー財団と正式に命名されました。1947年ポールハリス逝去後にロータリー会員から130万ドルの追悼寄付。1965年クラブと地区のプロジェクトに補助金を提供するプログラム創設。1978年大規模な人道的取り組みを可能とする「保険・飢饉追放および人間性尊重補助金プログラム」を創設。1979年フィリピンで600万人の児童へのポリオ予防接種活動を開始。1980年予防接種を通じてポリオ撲滅することがロータリーの目標に。数年間に渡るポリオプラスキャンペーンで2億4700万ドルを募金。成果がきっかけとなり世界保健総会が世界ポリオ撲滅推進活動を創設。1999年ロータリー平和センターの設立。2013年簡素化された補助金モデルを導入。2015年約30年にわたる取り組みによりポリオの発症者は99.9%減少。ロータリー財団

への寄付の種類と現状。年次基金寄付はロータリー活動の主たる資金源で地区の目標は一人100ドル。財団へ集まった年次寄付についてシェアシステムが適用され3年間の留保後に地区の年次寄付と恒久基金の投資収益の合計の50%が地区に還元され、残り50%が財団本部に留保されます。還元された地区財団活動資金は各地区の裁量で、国際親善奨学金や各クラブの社会奉仕や国際奉仕プロジェクトのなどの補助金として配分し、それぞれの用途に使用します。財団本部に残される寄付金は国際財団活動資金と呼ばれGSE チームの派遣や受け入れの費用、その他ロータリー財団関連の奉仕プログラム目的に使用されます。恒久基金寄付、寄付金の元金は永久に貯蓄され運用益だけが財団プログラムを遂行するために使用されます。その他の基金、ポリオプラスを含む使い道を特定した寄付。マッチンググラント・グローバル補助金・ポリオプラス・ポリオプラスパートナー・その他の認証されたプログラム。という3つの基金の種類から成り立っております。前年度の第2500地区年次基金寄付の合計は32,602.95ドル、西ロータリークラブの前年度の合計は11,437.25ドル、2500地区の一人平均西ロータリークラブは第7位ということになっております。会員の皆さんにはロータリー財団に特段のご理解を頂き2019-2020年度も全会員からの100ドル献金、ポリオプラスへの献金、またポールハリスフェローへの献金など、財団へのご協力誠にありがとうございました。ロータリー財団からの活動資金について。ロータリー財団からの活動資金の割り当ては3年周期システムで活動資金の源は3年前に行なった年次寄付金、3年前までに行った恒久寄付金の3年前1年間の運用益です。寄付の行為なくして活動資金は得られないということになっております。全体の50%がWFへ、この50%の内のさらに50%がグローバル補助金へ。全体の50%の残りがDDFでこのさらに50%がグローバル資金と地区補助金へ流れます。地区補助金について。ロータリー活動していく上でも一番身近な活動資金が地区補助金です。地区及びクラブが参加したいと考える人道的・教育的活動の支援。ロータリー財団の使命を守るもの、ロータリアンが直接参加するもの。申請は1年に1回実施年度の前年の申請が推奨。クラブ単独での活動支援も可能。西RCの過去の地区補助金の事例について。2016-2017年度より補助金を積極的に使うようになりまして、帯広市内こども保育園に苗木50本を植え、カラ松の積み木ブロックを寄贈。古田会長が講話をしております。2017-2018年度に国際奉仕委員会を中心にモンゴルのウランバートル市第12学校とチョロトソム学校への

支援事業、第12学校の訪問。2018-2019年度より社会奉仕委員会がフットサルの大会を開いております。今年で3年目を迎え、今年でこちらの補助金は終わりののですが大変企画が良いということで3年続けての地区補助金を利用された地域への貢献をしております。代表で茨木会員に地区補助金を受けたことについて内容を少しご説明させていただきたいと思います。



私がやったのは3年前なのですが、国際奉仕授業というのが14年前に企画されまして、モンゴルの方に行っております。その後は個人で毎年10万円なり5万円なりお金を出してモンゴルにしております。3年目に国際奉仕委員長に任命されまして、ちょうど10年目にあたりましたので地区の補助金を使って大きな事業ということで30万円を予定していたのですが、申請の件数が多くて20万円弱に減額されまして実際クラブから10万円出してありますので30万円の事業ということでウランバートル第12学校とチョロートソム学校にしております。



このように奉仕委員会と財団委員会で協力しまして地区に貢献できるアイデアがありましたら補助金を利用して奉仕活動をして参りたいと思っております。ロータリー財団年次基金への寄付を是非お願い致します。最後に改めてロータリー財団とは他の団体に寄付をするためではない。ロータリー活動のために自分たちで基金を貯めて有効に使う。基金を補助金として地区やクラブが活用する。補助金活用目的は人道的奉仕と人材育成。世界的な規模で影響力のある活動を行う。ご清聴ありがとうございました。

